

令和 5 年 4 月 24 日現在

機関番号：34207

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18K10670

研究課題名(和文) 発達障害・他がある子どもと養育者の地域包括ケアに生かす外出に関する質問紙の開発

研究課題名(英文) In order to support their social participation, a questionnaire regarding an outing for parents or caregivers of children with developmental disabilities and related disabilities

研究代表者

辛島 千恵子 (Karashima, Chieko)

びわこリハビリテーション専門職大学・リハビリテーション学部・教授

研究者番号：00324088

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：発達障害・他がある子ども(以下、対象児)の養育者の社会参加を支援するために外出に関する質問紙(以下、外出に関する質問紙)が完成した。本質問紙により対象児の養育者が社会参加するための手段となる外出が制約されている要因や外出へのニーズを聞き取ることができる。作業・活動の1つである「外出」に焦点化したニーズの定量的な把握が可能となり、作業療法学領域からより具体的に対象児と養育者への地域包括支援を提案することができる。より広く活用するためにも、発達支援センター長、児童発達支援事業の施設長、発達障害研究の専門家や有識者による活用方法と活用実績を積み重ねることが重要である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、対象児の養育者の社会参加を支援するための「外出に関する質問紙」の開発により、養育者が社会参加するための手段となる外出が制約されている要因やそのニーズを多くの養育者から聞き取ることができる。養育者のニーズを基に現存する地域資源の活用方法と整えるべき地域資源を見出すことができる。開発された質問紙を積極的な地域包括支援に活用することは家族を中心としたwell-beingを具現化すると同時に、生態学的視点における作業療法学の構築にも寄与すると考える。

研究成果の概要(英文)：In order to support their social participation, a questionnaire regarding an outing for parents or caregivers of children with developmental disabilities and related disabilities*1 has been developed. The questionnaire allows us to obtain the factors preventing the parents or caregivers of the intended children from the outing as social participation and their needs for the outing. The questionnaire also makes it possible to quantify the needs focused on the outing as one of the occupations/activities, allowing us to suggest concrete regional comprehensive support in the field of occupational therapy for the intended children and their parents or caregivers. For a further application, it is important to collect utilization methods and results from directors of the child development support centers and the projects of child development support, as well as from key figures and experts in the research field of child development.

研究分野：発達障害作業療法

キーワード：発達障害 運動障害 養育者 外出 社会参加 質問紙

1. 研究開始当初の背景

対象児と養育者の Well-being と地域包括的支援-生態学的モデルと作業療法学の構築-地域での包括的支援の重要性が問われるなかで作業療法も病院から発達支援センターなどを中心とした地域の通園施設で行われるようになった。そして、同時に他職種連携による対象児の養育者への個別的支援も行われている。対象児と養育者の特別なニーズはライフステージによって異なるため、該当するステージの環境因子や個人因子との関係性で特別なニーズに対する支援を提供するという生態学的な視点が重要である。本研究は、「外出」という作業に対する困難さを明確にして、その支援を具現化するために必要なツールを開発することで、作業療法学の地域における包括的支援への参画を後押し、作業療法学の実践的な重要性を示すものである。

2. 研究の目的

対象児の養育者の社会参加を支援するための「外出に関する質問紙」の開発

3. 研究の方法

研究 1

- ・対象: 発達障害がある子ども¹の養育者(以下、発達・養育者)と 脳性麻痺を中心とする運動障害がある子ども¹の養育者(以下、運動・養育者)
- ・方法:外出に関するインタビューガイドを用いて半構成的インタビューを実施する。
- ・解析:質的手続き(KJ法)にて解析し質問紙項目を生成する。

1 自閉症スペクトラム障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等と脳性麻痺や重度重複障害を中心とする運動障害がある子どもを指す

研究 2

- ・対象:発達障害がある子ども他の養育者の外出について詳しい有識者を当事者と判断して 発達障害がある子ども¹の養育者(以下、発達・養育者)と 脳性麻痺を中心とする運動障害がある子ども¹の養育者(以下、運動・養育者)とした。
- ・方法と解析: Delphi 法²により妥当な項目を収斂する。

研究 3

- ・対象:収斂された質問紙項目
- ・方法: 収斂された質問紙項目を用いて質問紙を作成し、養育者による予備的な回答後に有識者³を交えて項目の妥当性と回答尺度を検討する。

2 Delphi 法について:特定の課題に対する専門家やある集団の考えをコンセンサス(複数人の間での合意)として把握するものである。同一対象者に調査を繰り返すことで意見の収斂を行うことや、2回目以降の調査で前回調査の結果がフィードバックされることが特徴である。

3 有識者:発達障害・他について学術的研究や支援活動を実践している研究者や施設長

4. 研究成果

成果

平成 30 年度には Delphi 法調査が終了により、精査された質問紙項目が運動障害用と発達障害用の「外出に関する質問紙」の項目を選定することができた。前者は 39 項目、後者は 59 項目が選定された。

令和1年には、これらの項目を10名の運動障害がある子どもの養育者と発達障害がある子どもの養育者が回答し、項目の内的妥当性を検討した。また、養育者からの質問紙についての感想を聞き取り、質問項目を精査した。令和2年、3年には精査した質問項目にて試行的に質問紙を作成した。しかし、コロナ感染の影響で発達支援センター長、児童発達支援事業の施設長、発達障害の研究を専門としている専門家や有識者による会議が実施できず、実質的な試行的な質問紙実施はR4年度に見送られた。令和4年には、リモートを中心に開催したが、十分な審議に至らなかったが、活用可能な発達支援センターや発達支援事業所での活用を目指すことになった。研究開始当初の目的は概ね達成された。

臨床応用

試行的な臨床応用に止まった。今後、試行後に項目精査と尺度の再検討を続ける。その後、作業療法士協会、中部地区発達支援センター長会議などへ協力を経て、完成版の臨床応用へと進めていく予定である。

限界

発達障害・他がある子どもと養育者が暮らすどのような地域でも等しい社会的サービスが受けられることが理想である。しかし、幼児期においては発達支援センターや発達支援事業所の具体的なサービス内容には格差がある。そのため本研究の質問紙の開発などを通じて、まずは、利用者である養育者からの外出についての定量的な意見を聞き取るツールとして、質問紙の開発に取り組んだ。しかし、地域限定から試行しつつも使用を全国に拡大するには、時間を要する。その間においても、養育者と家族の外出に対する困難さに対する解決策が見出しにくい現状である。開発と活用が発達障害・他がある子どもと養育者に届くまでには、時間を要する。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 辛島千恵子	4. 巻 特集2
2. 論文標題 自閉症スペクトラム障害がある幼児から大学生への作業療法-ライフステージにそった協働-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 石川県作業療法学会誌	6. 最初と最後の頁 p7-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 辛島千恵子	4. 巻 1
2. 論文標題 ASD児の余暇活動の特徴と児童発達支援センターなどの作業療法の方途	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 びわこ健康科学	6. 最初と最後の頁 p2-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Yuji Hirose, Chieko Karashima, Go Igarashi	4. 巻 18
2. 論文標題 Sensory Modulation and Behavior of Preschool-Aged Children with Special Education Needs.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Asian J Occup Ther	6. 最初と最後の頁 71-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Masashi Tsuzuku, Chieko Karashima, Go Igarashi	4. 巻 19
2. 論文標題 Types of Grasping Chopsticks and Their Functionality inTypically Developing Preschool Children.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Asian J Occup Ther	6. 最初と最後の頁 95-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asuka Kenmochi ,Chieko karashima	4. 巻 16
2. 論文標題 Out-of-home Activity Accessibility Checklist for Parents of Children with Gross Motor Dysfunction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian J Occup Ther	6. 最初と最後の頁 63-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1539449220906794	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Go Igarashi,Chieko karashima,Jun-ichi Uemura	4. 巻 40
2. 論文標題 Items Selection for the Japanese Version of the Preschool Activity Card Sort	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Occupation,Participation and Health	6. 最初と最後の頁 166-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1539449220906794	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辛島千恵子	4. 巻 207 (9)
2. 論文標題 特別支援学校・学級における作業療法士の支援、児童の特徴と環境の工夫	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 こころの科学	6. 最初と最後の頁 69-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横山恵理 辛島千恵子	4. 巻 37
2. 論文標題 発達障害児と家族の外出に関する質問紙の開発に向けて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 作業療法	6. 最初と最後の頁 410-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計35件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 気になる子どもの特性と対応
3. 学会等名 中津川市発達支援関係職員研修会主催
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 子どもと養育者の心に重なる支援 - 理解し、共に生活を紡ぎ 分かるために -
3. 学会等名 岐阜県障害幼児研究会主催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 特別な教育ニーズがある幼児、児童の「できる」を支援する作業療法実践と根拠 - 生活を紡ぐ大切さ -
3. 学会等名 滋賀医科大学小児科学講座、精神医学講座・滋賀県主催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 特別な教育ニーズがある幼児、児童への作業療法の根拠と実践 - 名古屋大学での生態学モデルによる研究と実践 -
3. 学会等名 滋賀医科大学小児科学講座、精神医学講座・滋賀県主催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 地域・暮らしを支える臨床研究 - 実践学としての作業療法の発展と混合研究法
3. 学会等名 第54回日本作業療法学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 通常の学級における児童さんへの心に重なる支援とその根拠
3. 学会等名 S.E.N.Sの会石川支部
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 ライフステージにそった支援
3. 学会等名 小牧市社会福祉事業団主催学術研修会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 養育者支援
3. 学会等名 中津川発達支援センター研修会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 座ることの意味を考えた支援
3. 学会等名 日進市こども福祉部講演会主催学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野中 美沙 , 辛島 千恵子 , 野口 裕美 , 太田 恵理
2. 発表標題 セラピー犬との遊びが自閉スペクトラム症またはその疑いがある子どもの非言語的コミュニケーション行動に与える影響
3. 学会等名 第53回作業療法学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 五十嵐剛, 上村純一, 辛島千恵子
2. 発表標題 日本版Preschool Activity Card Sortの開発
3. 学会等名 第53回作業療法学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 剣持明日香、辛島千恵子
2. 発表標題 運動障害がある子どもの養育者の外出に関するチェックリストの開発
3. 学会等名 北海道作業療法学会(36巻p80)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 小児作業療法の実際
3. 学会等名 岡山旭川荘研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害の作業療法
3. 学会等名 日本作業療法士協会生涯教育講座
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 特別なニーズがある児童さんと分りあうために
3. 学会等名 名古屋市西山小学校夏季講演
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 手の発達と道具
3. 学会等名 日進市こども福祉部講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 特別なニーズがある幼児の「できる」を支援する-生活を紡ぐ大切さ
3. 学会等名 名古屋市療育合同研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 重度心身障害児・者の作業療法
3. 学会等名 岡山旭川荘研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 知的障害があるASD幼児の作業療法
3. 学会等名 岡山旭川荘研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 学童期の養育者との連携
3. 学会等名 南特別支援学校分校・研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 五十嵐剛 辛島千恵子
2. 発表標題 日本版Preschool Activity Card Sortの開発に向けた研究1?日本の就学前児が行う活動・参加についての文献調査
3. 学会等名 第52回作業療法学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害がある子どもの生活支援
3. 学会等名 株式会社GENE主催研修会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害がある子どもの作業療法
3. 学会等名 岡山市旭川荘研修会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害がある子どもの感覚-運動アプローチ
3. 学会等名 中津川発達支援センター保育士研修会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害がある子どもの作業療法の評価と支援
3. 学会等名 日本作業療法士協会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害がある子どもの生活支援
3. 学会等名 岡山市旭川荘研修会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 子どもたちの心に重なる支援の実際
3. 学会等名 日本学校保健協会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 生態学モデルで推進する発達障害がある子どものwell-being
3. 学会等名 第52回作業療法学会シンポジスト講演
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 幼時期の特別にニーズがある子ども養育者
3. 学会等名 日進市子ども福祉課研修会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 ASD児への生活行為への支援と作業療法
3. 学会等名 静岡県作業療法士会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 ASD児の作業療法と養育者への支援
3. 学会等名 岡山市旭川荘研修会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 福岡県作業療法を考える会研修会
3. 学会等名 発達障害のライフステージにそった子どもと養育者への支援
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 発達障害がある幼児の養育者支援について
3. 学会等名 中津川発達支援センター支援関係者研修会主催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 自閉症スペクトラム障害がある幼児から大学生への作業療法-ライフステージにそった協働-
3. 学会等名 石川県作業療法士協会主催
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辛島千恵子
2. 発表標題 ASD幼児の作業療法の実際
3. 学会等名 中津川発達支援センター支援関係者研修会主催
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 福田恵美子、辛島千恵子、宮内秀樹他5名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 CBR	5. 総ページ数 42
3. 書名 小児の作業療法-匠の技-	

1. 著者名 辛島千恵子, 矢谷玲子, 福田恵美子, 藤井浩美他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 CBR	5. 総ページ数 2
3. 書名 日本の作業療法発達史	

1. 著者名 辛島千恵子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 10
3. 書名 人間発達とライフサイクル・総論3-2,6運動機能の発達	

1. 著者名 辛島千恵子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 9
3. 書名 人間発達とライフサイクル・総論4-3社会性の発達と対人コミュニケーションの発達	

1. 著者名 辛島千恵子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 6
3. 書名 人間発達とライフサイクル・各論 1理学療法評価・作業療法評価	

1. 著者名 辛島千恵子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 4
3. 書名 人間発達とライフサイクル・各論 1-4運動コントロールモデルと作業療法	

1. 著者名 辛島千恵子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 2
3. 書名 人間発達とライフサイクル・各論 3関係発達理論と作業療法	

1. 著者名 2020	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 13
3. 書名 人間発達とライフサイクル総論	

1. 著者名 2020	4. 発行年 2020年
2. 出版社 理工図書	5. 総ページ数 10
3. 書名 人間発達とライフサイクル各論 4環境・発達と理学療法、作業療法	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	五十嵐 剛 (Igarashi Go) (50735199)	名古屋大学・医学系研究科(保健)・助教 (13901)	
研究分担者	清水 英樹 (Shimizu hideki) (70235662)	名古屋大学・医学系研究科(保健)・准教授 (13901)	2018年12月11日削除
研究分担者	上村 純一 (Uemura Junichi) (70467322)	名古屋大学・医学系研究科(保健)・助教 (13901)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関